



インターネットでの情報提供	
提供予定月日	平成24年6月13日

平成24年6月12日(火) 県政記者クラブ配布資料		
担当課	担当者氏名	電話番号
林政課恵みの森づくり推進室	佐藤 智紀	直通 058-272-8472
	井田 琢也	内線 3028

環境保全モデル林の選定について

県では、4月から導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して進めている、緑豊かな「清流の国ぎふづくり」の一環として、「環境保全モデル林整備事業」を実施します。

「環境保全モデル林」は、既存の林業では採算が合わず放置されている里山林において、生物多様性の確保など環境への配慮と森林資源を活用した新たなビジネスの創出により、里山再生手法のモデルを確立し全県へ展開を図ることを目的としており、今年度からの5年間で5か所を指定・整備します。

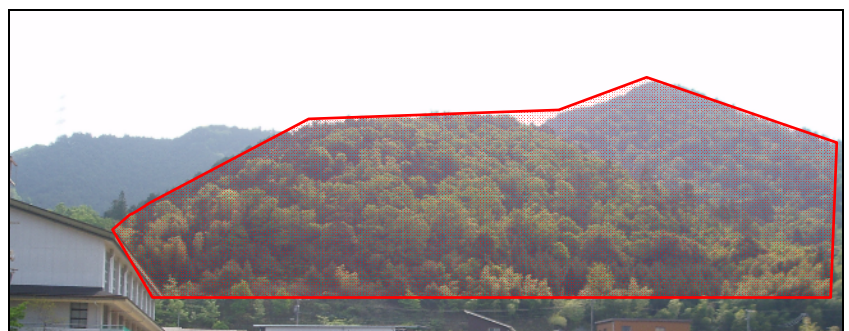
本年度の同モデル林候補地を募集したところ、4件の応募があり、厳正な審査と第三者機関「清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価委員会」の意見を踏まえ、下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

今後、モデル林で里山活動を行う団体（プレーヤー）を募集し、所有者や恵みの森づくりコンソーシアム会員等と共に整備・活用計画の策定を進めます。

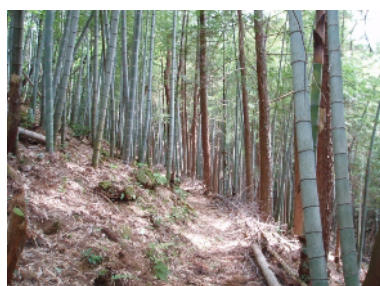
記

1 モデル林の概要

- (1) 所在地 美濃市字古城山（こじょうざん）地内
- (2) 面積 約18ha
- (3) 土地所有者 美濃市
- (4) 森林の状況 広葉樹林(広葉樹・アカマツ、ヒノキ、竹など)が主。昭和40年代に針葉樹を植林したが、松くい虫被害によるアカマツの枯損や竹の侵入で、現在は広葉樹が中心。



遠景



ヒノキ林に竹が進入

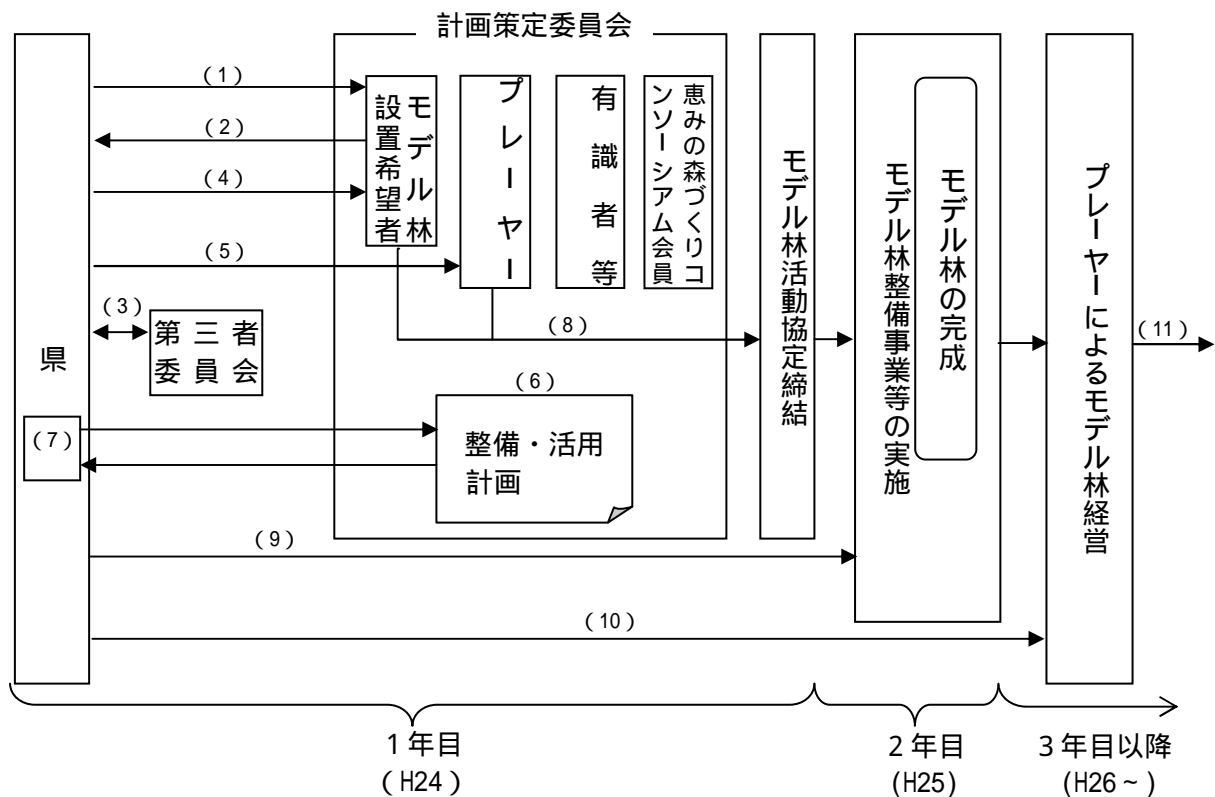


未整備の広葉樹林

2 候補地選定までのプロセスと今後の予定（今年度分）

月 日	内 容
4月25日～5月21日	候補地の募集
5月28日～6月1日	現地調査及び庁内審査会で採択案決定 メンバー構成：林政部長、次長、関係課長の計6名 審査手法：同モデル林の趣旨に合致する森林で、7項目（必要性、発展性、立地条件、効果性、収益性、プレイヤー確保、継続性）の5段階評価
6月6日	「清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価委員会」開催
6月12日	同モデル林の決定
6月下旬	プレイヤー（モデル林で活動する民間団体等）を公募
7月～	関係者によりモデル林の整備・活用計画を策定

< モデル林指定までの仕組み >



- (1) 県はモデル林を公募
- (2) モデル林設置希望者から、モデル林応募申請
- (3) 県は第三者委員会提言を受けてモデル林を選定
- (4) 決定したモデル林において、県とモデル林設置希望者は協定を締結
- (5) 県はモデル林での活動を希望するプレイヤーを公募
- (6) 県、モデル林設置希望者、プレイヤー、有識者、恵みの森づくりコンソーシアム会員等からなる「計画策定委員会」において、モデル林の「整備・活用計画」を検討
- (7) 県は「計画策定委員会」の意見を参考に、「整備・活用計画」を策定
- (8) モデル林設置希望者とプレイヤーは「モデル林活動協定」を締結
- (9) 県は、モデル林において森林の整備、路網の整備、施設の設置等の事業を実施
- (10) 3年目以降、プレイヤーはモデル林を経営。当初の1年間は、県が進捗管理や関係者間調整等のサポートを実施
- (11) 4年目以降は、プレイヤーによる自立的な経営を目指す